

☆☆ **新型コロナウイルス感染症ニュース** 第 56 号 2021.2.22 ☆☆

余寒ことのほか厳しい今日このごろ、先生方におかれましては日々の診療にご尽力されているかと存じ上げます。市民の皆様のワクチン接種への期待と不安も大きいなか、仙台におきましても新型コロナウイルスワクチン接種が指定医療機関で先行接種として開始されました。今号は当会理事である仙台医療センターの島村弘宗先生から新型コロナウイルスワクチンの接種報告がごございます。また第三次補正予算の補助金を活用した支援について2月8日付で厚労省より公表されておりますので対象医療機関ではご確認ください。

新型コロナウイルスワクチン接種後体験談

《 **新型コロナウイルス接種後報告** 》

仙台医師会理事 島村弘宗

2021年2月19日

ようやく日本でも SARS-CoV-2 に対するワクチン（ファイザー社製、メッセンジャーRNA ワクチン）が使用可能となり、全国で医療従事者を対象とした先行接種が始まりました。宮城県でも4病院（NHO 仙台医療センター、JCHO 仙台病院、JCHO 仙台南病院、東北労災病院）が先行接種に参加しています。

今後は、前記4病院以外の医療従事者、高齢者や持病を有する方への優先接種から、順次一般市民への接種と対象が広がっていく予定ですが、ワクチン接種業務を担うであろう仙台市医師会会員の皆様に、少しでも早く新型コロナワクチンに関する情報をお伝えしたいと考え、自らの接種経験を元にご報告いたします。

まず、ワクチンについてですが、商品名を「コミナティ筋注」と称し、海外では COMIRNATY と表記されています。さりげなく RNA の文字が入っていますね。ご存知の通り、 $-75\pm 15^{\circ}\text{C}$ で保管し、冷蔵庫または常温で解凍して数時間以内に接種しなければなりません。1バイアルは特殊なシリンジ（内筒の先端部分が凸になって注射針差込み部分の死腔を無くすよう設計）を用いて6人分確保できます。医薬品情報はネット上で見ることができます（<https://www.mhlw.go.jp/content/11123000/000738743.pdf>）。

当院での先行接種では、先ず検温・問診などで体調をチェックし、接種会場へと進みます。実際のワクチン接種は筋注ですが、注射に伴う疼痛は軽度で、全く問題ありませんでした。注射を受けた後は同意書などを事務局に提出し、代わりに「日誌」を受け取ります。この用紙に day1（接種日）から day8 までの体温や接種部位の変化（発赤や硬結の大きさを計る）を記入して提出します。これを事務局で厚労省に登録（V-SYS という）することになります。その後、アナフィラキシー発症に備えて「休憩スペース」で15～30分休みます。初日は院長を含む30名が接種を受けましたが、体調を崩した職員は皆無でした。

このワクチンは3週間後に2回目を接種することになっています。したがって、3週間後の予定を踏まえつつ接種日を選択しなくてははいけません。また、海外データによると、副反応として局所の疼痛のみならず強い倦怠感や発熱が見られる場合があり、数日仕事を休まざるを得なかった例もあるとのことでした。その可能性も考えて、同じ職場やチーム内では全員が同時に接種することを避けて、誰かが休んでもいいような体制をつくっておくと安心かもしれません。

2021年2月20日

ワクチン接種の翌日。

朝から接種部位の肩に軽い痛み。

発赤・腫脹・硬結などはまだ見られませんが、副反応の部類に入るのかもしれない…。

仙台市におけるワクチン接種準備状況について

3月から始められる予定の医療従事者向け接種ですが、まだ具体的なワクチン供給のスケジュールは示されておりません。接種施設でのワクチンの請求方法、具体的はお届けの方法も検討中です。接種施設にご来場することの難しい施設入所中や在宅療養中の方に対する接種も、ワクチンの温度管理と有効期限の問題があり、必要人数の把握とともに接種方法について検討中です。示された日程の迫る中、気をもまれることも多いと思いますが、今後も随時状況をご報告いたします。

今週はまず、接種施設が登録必須なV-SYSについて通知が行われる予定です。「集団契約に伴う委任状の医師会への提出」、その後にメールで送られてくる「V-SYSへの登録のための通知」に24時間以内に返信することが必要となります。

既に通知されております2月26日（金）には「新型コロナワクチン救急対応講習会」がハイブリッド形式で開催されます。参加申し込みを受け付け中です。（文責；CVPT 福壽 岳雄）

【第三次補正】令和2年度新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金の

交付について

2020年12月15日～2021年3月31日までにかかる新型コロナウイルス感染症に対応した感染拡大防止対策や診療体制確保等に要する経費に関して補助金が交付されます。

申請期限は2月28日（日）（当日消印有効）ですが、**申請期限に申請が間に合わない場合は、2021年4月からの経費が対象となる補助金が申請できます。詳細は後日改めて示されます。**

なお、今回補助を受けた医療機関は、4月からの経費分の補助金は申請できません。

問い合わせ先 厚生労働省 医療提供体制支援補助金コールセンター

電話 0120-336-933

電話受付時間：9時30分から18時まで（土曜日・日曜日・祝日を除く）

（文責；大和 一美）

ニュース部より（56号担当、大和一美）

新型コロナウイルス感染症の収束にむけて、今後も会員の先生方に新しい情報を発信していきたいと思っております。接種希望される市民の皆様に円滑にするためにも、是非先生方のご意見をお待ちしています。

仙台市医師会へのご意見・ご質問等はFAX、メールでお願いいたします。

FAX：022-267-5193

メール：sen-ishi@sendai.miyagi.med.or.jp